

全国ネイチャーゲーム研究大会 in 秋田 2020

「ブナの森に抱かれて～ココロもカラダも“森”呼吸～」

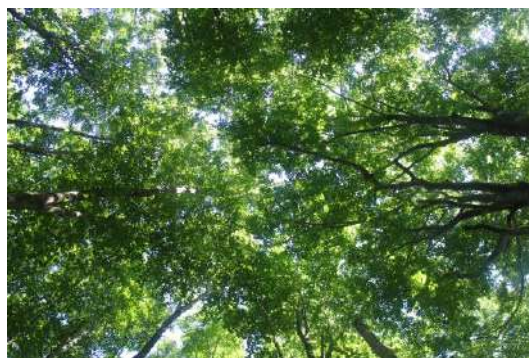
実施計画 公開

秋田大会にお申し込みいただき、訪れるのを楽しみに待っていてくださった皆様、この度の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、本大会が中止となってしまう、お会いできず、そして秋田の自然を存分に味わっていただく機会がなくなってしまったこと、秋田県スタッフ一同本当に残念に思っております。

そこで、いつか感染症が治まり、皆様が秋田においでいただく際の参考になればと思い、せめて私たちの計画だけでも皆様にお伝えしたいと考えました。ぜひご覧いただき、秋田の自然を想像していただけたら幸いです。

そしていつか、マスクをはずして秋田の美味しい空気を存分に「“森”呼吸」をしにいらしてください。

秋田県協会会員一同



～ 理事長から皆様へのメッセージ ～

どこにもない、ここしかない、極上の空間。そんな秋田の大自然に浸り切れた三日間がシャボン玉の如く飛んでいきました。

全国で最小規模の秋田県シェアリングネイチャー協会ですが、人材はダイヤモンド揃い。精鋭スタッフが豊富なネイチャー資源を練りに練って作った最高のプログラム。コロナ禍終息のあと、再び陽光を浴びようとしています。

全国の仲間と過ごす時間も good！ですが、一人でゆったりと、あるいは気のおけない仲間たちと楽しく、それぞれの感動が沢山得られる「全国研秋田大会」のグラウンドに是非お越しください。

ブナの木の木漏れ日が、緑の風が皆さんをお待ちしております。

秋田県協会理事長 草薙 孝悦

1日目：6月5日（金）くもり

皆さん各地から秋田へ続々と集結！

13：00～ 総会

スポーツセンター隣のスキーセンターにて開催。
駒ヶ岳がいきなり目の前にドーンと迫って見えます。



15：00～ 開会式

スキー場のゲレンデに集合
斜面から上を見上げると駒ヶ岳の勇姿が見えます。
眼下には、木々の向こうに青い水をたたえた田沢湖が静かにたたずんでいます。

16：00～ 基調講演「自然からの贈り物」

体育館に入り、地元出身フォトグラファー小松ひとみ氏が撮影した美しい自然の写真を見ながら、お話を耳を傾けます。
自然愛あふれる優しいまなざしを通した素敵な写真にうっとり…
※詳しく知りたい方、癒やされたい方はHPをご覧ください。

<https://www.hitomi-k.com/>「小松ひとみのフォトワールド」

18：00～ ウェルカムパーティー

食堂に全員集結！秋田ならではの郷土料理に舌つづみ。全国各地の情報交換や楽しい話題に花が咲きます。ゲストはなまはげ※1と大仙市のドンパン娘※2。最後は全員で輪になり、民謡の宝庫秋田らしくドンパン節の手踊りで盛り上がります。

20：00～ フリープログラム＆交流会

思い思いの夜を過ごしましょう。話が弾み、あっという間に夜が更けていきます。

参考 ※1 なまはげ紫灯まつり <https://www.youtube.com/watch?v=eCkV-q4MPyA>
※2 ドンパン娘とは <http://donpan.hana.jp/donpan-girl/>

2日目：6月6日（土）晴れ

今日はワークショップの日。はりきって各地へ向かいます。

【ワークショップ各コース】

A 休暇村	ブナの森と温泉満喫でリフレッシュ
訪問地	休暇村乳頭温泉郷周辺
体力度	★ブナ森をゆっくり散策
活動内容	休暇村に向かうブナ森の遊歩道をエクササイズやネイチャーゲームを行いながら歩き、休暇村での温泉入浴、稲庭うどんを楽しみます。午後もし湯巡りやブナの森の散策を満喫し、心身ともにリフレッシュします。
ねらい	ブナの森でのネイチャーゲームや温泉入浴を通して、秋田の自然や文化を体験します。
コース概要と 見どころ & おすすめ ポイント	【午前】 8:00～ 8:20 ブナ森の遊歩道入口までバスで移動 8:20～11:00 休暇村まで約 2.5km の新緑のブナ林を、エクササイズやネイチャーゲーム、クマの爪痕探し（！）などを楽しみながらゆっくり歩きます。見どころは空を覆う新緑、ブナの保育園（実生の群生）、トチ、ホオノキや山野草、カモフラージュの達人のツチガエル、オトシブミなどブナの森の家族も出迎えてくれます。 11:00～11:50 休暇村で2種類の温泉入浴（乳頭の湯、田沢高原の湯） 【昼食】 11:50～12:50 冷やし稲庭うどん天ぷら付き（沢水をろ過した冷水も絶品） 【午後】 13:00～15:00 乳頭温泉郷湯巡りコースを散策、孫六温泉、黒湯温泉エリアでの休憩時間には入浴体験もOK 15:00～15:40 林間園地で見つけた「私のブナ」と記念撮影し、迎えのバスがくるまではバーティカルポエムに集中です。 16:00～17:30 宿舎でアケビツルと木の実を使ったリース作りに挑戦します。
担当者より一言	ブナの一生の各場面（花や実、実生からマザーツリー、枯木・・・）に次々と出会える散策路は、明るく爽快で、時間がたつのを忘れるほどです。



マザーツリー



ブナの保育園



クラフト材料の一部

B 鶴の湯	400 年前にタイムスリップ！マタギ気分で鶴の湯探訪
訪問地	鶴の湯温泉周辺
体力度	★★鶴の湯旧道をゆっくり散策
活動内容	鶴の湯へ向かう旧道を歩きながら、ブナの森を全身で体感。昼食は、囲炉裏を囲みながら地元の名物料理山の芋鍋を味わい、午後は鶴の湯をたっぷり楽しめます。
ねらい	かつて、鶴の湯に人々が通った旧道を実際に歩き、秋田の豊かな自然と歴史文化を体感します。
コース概要と 見どころ & おすすめ ポイント	【午前】 8：00～ 8：20 「鶴の湯温泉旧道口」へバスで移動 8：20～11：00 新緑のブナをゆっくり楽しみながら、鶴の湯温泉別館山の宿へ。数百年前のマタギもこの景色をみながら湯治へ向かっていたかもしれません。 *つり橋で鶴の湯峡をわたる楽しいコース。 *歩きながら秋田に自生する様々な広葉樹の芽吹きを観察できます。 【昼食】 11：00～12：30 鶴の湯温泉別館山の宿に到着 いろりを囲みながら「山の芋鍋定食」をいただきます。 【午後】 12：30～14：00 ブナ、ミズナラ、ホオノキ、秋田スギ…。豊かな秋田の森林を全身で味わいながら鶴の湯へ *途中ミズバショウの群生地もあります。 14：00～15：00 乳頭温泉きつての秘湯「鶴の湯」に到着 *乳白色の温泉に入るもよし、山の芋を使ったおまんじゅうを買うもよし、素敵なログハウスでコーヒーを飲むもよし。それぞれの楽しみ方ができる場所です。 15：00～ 鶴の湯温泉からバスで移動
担当者より 一言	今でこそ自動車を使いドアツードアで訪問できる鶴の湯ですが、せっかくですから、数百年前のマタギの気持ちになって、秋田ならではの自然を楽しみながら温泉を目指しましょう！きっと、いろいろな発見があるはずです。



前年の下見にて
これが「鶴の湯」です！→



名物「山の芋鍋」

C 黒湯	秘湯『黒湯温泉』を訪ね郷土料理を楽しむ
訪問地	黒湯温泉周辺
体力度	★ブナの森をゆっくり散策
活動内容	乳頭温泉郷のブナ森をゆっくりとした気分で散策しながら、ブナの生態や「空吹湿原」で水芭蕉などの植生を観察するとともに、ネイチャーゲームや散策で疲れた体を秘湯「黒湯温泉」で癒し、秋田の郷土料理「きりたんぽ」を堪能します。
ねらい	新緑のブナ森の中でゆっくりネイチャーゲームを楽しみながら郷土料理を堪能します。
コース概要と 見どころ & おすすめ ポイント	【午前】 8:30 休暇村へバスで移動 9:20 ブナ森の中、差し込む春の光と通り抜ける風を感じながらブナの落ち葉を歩き進みます。 9:40 NG『はじめましてin黒湯』 10:10 ブナ森を通して空吹湿原遊歩道を散策 湿原に水芭蕉が咲いています。 11:00 ブナ森を通りNG『季節からの贈り物』 散策路階段で記念撮影 12:00 黒湯温泉到着 【昼食】 12:10 郷土料理『きりたんぽ定食』を堪能 【入浴】 ゆっくり温泉で疲れた体を癒しましょう。 【午後】 13:30 孫六温泉～大釜温泉（足湯）～妙の湯温泉を横目で見ながらブナ森へ 14:30 ブナ森の中NG『バーディカルポエム』 ③ろ卵は湯畑で作られた絶品 ④てん風呂乳白色と硫黄の匂い ⑤ゆっくり旅の疲れを癒します。 15:20 休暇村到着 16:00 スポーツセンター着（お疲れ様） 思い出作り 桜の枝輪切、どんぐり、葉っぱ、イラスト *熊に会えたかなあ…
	      
担当者より 一言	ブナの森でネイチャーゲームをみんなで楽しくやりたかったなあ。 秋田の郷土料理「きりたんぽ」を食べて貰いたかったなあ。

D 田沢湖	クニマスから学ぶ神秘の田沢湖！（田沢湖遊覧付き）
訪問地	田沢湖周辺 乳頭温泉郷
体力度	★ブナ森をゆっくり散策
活動内容	田沢湖の固有種であったクニマスが、絶滅するに至った経緯や元の環境を取り戻すための取組を知ることで、人と自然の関係に目を向けてみます。遊覧船に乗り、日本一深いペルシャンブルーの神秘的な湖の美しさを近くで感じます。もちろん、ブナの森で深呼吸も。
ねらい	田沢湖で絶滅してしまったクニマスを切り口に、人と自然の関係について学び、豊かな自然のブナの森で深呼吸して自然環境の大切さを感じます。
コース概要と 見どころ & おすすめ ポイント	8:00～9:00 スポーツセンターからクニマス未来館へバスで移動 9:00～10:55 クニマス未来館見学と講演 田沢湖の固有種だったクニマスは、高級魚で田沢湖の漁師にとっては、大切な資源だったようです。70年前田沢湖を水力発電に利用しようとして玉川の水を流入させたところ、水質が酸性に変わり、クニマスは絶滅してしまいました。その経緯や漁師の方々の苦悩など、当時の最後のクニマス漁師である三浦家の方からお話を聞きます。 山梨県の西湖で、クニマスが発見され話題になりましたが、ご存知でしょうか？なんと65年前に西湖に送ったクニマスの卵が孵化して生きていたのです。クニマス未来館では、西湖から戻ってきたクニマスを大事に育てています。（クニマス未来館の前にたつ子茶屋があります。そこは“みそたんぼ”が名物で、もちもちのきりたんぼと香ばしい甘辛い味噌がとっても美味しく、みんなで味わいます。） 10:55～11:00 バス移動で、県民の森へ 全国の木が植えられている県民の森。自分の県の木を探してみたり、「私の木」のゲームを楽しんだりします。 11:50～12:55 バス移動。共栄パレスで昼食 秋田名物“稲庭うどん”を食べましょう。温かいのも冷たいのも美味しいです。稲庭うどんを作っているところも見ることが出来ます。また、秋田犬のそら、ごん、はちに会うこともできます。 13:00～13:40 遊覧船で田沢湖遊覧 日本一深いペルシャンブルーの湖で深呼吸し心を癒しましょう。 金色の辰子像に会えます。 13:40～14:20 遊覧船下船後は、バスで御座石神社へ 龍神に姿を変えた辰子姫を祀るパワースポット。辰子姫の美にあやかり美貌成就、不老長寿を祈願します。 14:20～14:50 バス移動 14:50～15:20 休暇村へ向かう途中のブナ林を散策します。 森呼吸のエクササイズで一日を振り返りましょう。 (15:20～15:30 バス移動…入浴希望の人) 15:30～16:30 休暇村のブナ林に囲まれた温泉に、入浴可能です。 入浴しない人は、周辺のブナ林の散策道を楽しみましょう。 16:40～17:00 バス移動でスポーツセンターへ 一日お疲れ様でした。
担当者より 一言	クニマス発見のニュースの裏、日本一深くきれいなペルシャンブルーの湖にそんな歴史があったとは……。強酸性の玉川温泉水は、悪水とも呼ばれ、酸性に強いウグイは元気に泳いでいますが、固有種のクニマス、ヒメマスやコイは住めなくなってしまいました。一度失った自然は元に戻すことは難しいですね。



E 秋田駒ヶ岳	花の百名山秋田駒ヶ岳登山で花々と展望を楽しむ
訪問地	秋田駒ヶ岳、乳頭温泉郷
体力度	★★★ちょっと早いけど花の百名山秋田駒ヶ岳登山とブナの森を散策
活動内容	花の百名山秋田駒ヶ岳に8合目から登り、この時期に咲く花々を観察し楽しめます。下山後は、乳頭温泉郷のブナの森をゆっくり散策し、その後温泉入浴でココロもカラダもリフレッシュします。
ねらい	秋田駒ヶ岳に登山し、花の百名山を堪能するとともに、ブナの森で自然に溶け込んでいくような感覚を体感後、温泉入浴でリフレッシュします。
コース概要と 見どころ & おすすめ ポイント	8:17～ アルパこまくさからバス発車～8合目へ（8:24着） 9:00～ 駒ヶ岳8合目駐車場から2班に分かれて登山スタート。 ・片倉岳展望台から田沢湖を望む～途中お花畑を過ぎて、阿弥陀池へ ・阿弥陀池周辺の景色を探訪～10:30阿弥陀小屋へ到着 11:30まで昼食（朝いち弁当で舌鼓）秋田こまちのおにぎりが美味。 11:30～ 阿弥陀小屋出発～横岳分岐を通り、シャクナゲコースへ向かいます。 13:00～ 8合目駐車場に帰着～下りバスに乗車～14:00 アルパ着 14:30～ アルパこまくさからバスで休暇村へ着～ブナ林をミニ散策 15:00～ ブナ林に囲まれた露天風呂でリフレッシュ～宿舎へ帰着
担当者より 一言	今回の秋田駒ヶ岳へ登山コースは、最もポピュラーで人気があります。雪渓を横切り登山道の両脇に咲く花々、片倉岳展望台からの日本最深を誇る田沢湖の眺め、山頂近くにある阿弥陀池の景色、天候により岩手山や鳥海山も望める素晴らしい山。また、麓の乳頭温泉郷ブナ林の中を歩くトレッキングも、セラピー効果抜群のエリアです、春～秋にかけて其々の魅力があります。今回は残念でしたが、皆さま全国的に落ち着き次第お越し下さい。



片倉岳展望台から田沢湖遠望



阿弥陀池を背にして



駒ヶ岳に咲く
「コマクサ」



F わらび座	わらび座の役者体験で表現力アップ！
訪問地	あきた芸術村 わらび座
体力度	★役者体験
活動内容	乳頭温泉郷のブナの森をゆっくり散策した後、日本の伝統芸能を重んじ、民舞やミュージカルなどを得意とするわらび座へ。役者体験などを通して、あなたのネイチャーゲーム指導も表現力アップすること間違いなし！
ねらい	ブナの森でどっぷりと秋田の自然に浸っていただいた後に、声を出す、身体を動かすことにより心身のリフレッシュを図るとともに、ネイチャーゲーム指導の所作の幅を広げます。
コース概要と見どころ & おすすめポイント	【午前】 8:30～ 8:50 ブナの森へバスで移動 8:50～10:30 ブナの森をじっくり散策、ブナの若葉からこぼれる朝日を浴びながらリフレッシュ 10:30～11:15 バスにてあきた芸術村わらび座へ移動 車中、田沢湖地区に土着し、芸能活動等を継続しているわらび座の紹介 11:15～12:00 あきた芸術村わらび座到着 舞台「ブナがくれた笛」について講演 【昼食】 12:00～13:00 温泉ゆぽぽにて特注弁当 【午後】 13:00～15:50 舞台「ブナがくれた笛」を活用した演劇ワークショップ 15:50～16:50 温泉ゆぽぽにて汗流し 16:50～17:30 田沢湖スポーツセンター到着
担当者より一言	演劇ワークショップの記事など見ていたものの、事前に経験することができず、WSの行方は一発勝負のつもりでした。結局、実施できず、歌も踊りも不得手な私は、自身の大変身ぶりを見る（見せる）ことができず、残念！

わらび座とは？

わらび座は民族伝統をベースに、多彩な表現で現代の心を描く劇団です。
1951年2月 創立。民謡の宝庫と呼ばれる秋田県仙北市にホームベースを置き、現在5つの公演グループで年間約800回の公演を全国で行っています。
海外公演は、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、ブラジルなど16カ国で行なっています。（わらび座ホームページより）

詳しくは、ホームページ <https://www.warabi.jp/> をのぞいてみてください。
魅力的な演目がたくさんありますよ。

そして夜…

食事後はゆったり、交流会とフリープログラム。

昼間の興奮冷めやらず、ますます交流が盛り上がりそうですね。

屋上のウッドデッキに寝っ転がって眺める満天の星空は最高！

3日目：6月7日（日）晴れ

いよいよ最終日。今日も眩しい日差しで爽やかな風が吹き抜けます。

田沢湖も微笑んでいます。朝のフリプロも充実。

朝食をとって荷物をまとめたら、ゲレンデへ集合。

今日も緑あふれる光景を目に焼き付け、みんなで新鮮な空気を“森”呼吸♡

9：00～ 報告会 昨日のワークショップの思い出を披露

全体会 日本協会の企画は何でしょう？

10：00～ 閉会式 名残を惜しみつつ、3日間を振り返ります。

そして来年開催の神奈川県の方々のアピールタイム

11：00～ 別れを惜しみつつ、さようなら～。また会いましょう！

エクスカーション参加者は、貸し切りバスで男鹿へ出発します。



たぶんこうだったんじゃないか劇場

ー エクスカーション編 ー

仙北市を後にして、貸し切りバスで一路男鹿へ向かいます。大仙市、秋田市を通り、2時間ほどで男鹿市へ到着。

日本でも有数の芝生で覆われた寒風山。回転展望台からは秋田市から男鹿半島へ続く海岸線や鳥海山、能代港から白神山地など360度の大パノラマが一回転13分で満喫できます。ハンググライダーをしている人も発見！気持ち良さそう～。

日本海に突き出した男鹿半島の西海岸は絶景です。ジオパーク案内人の解説を聞きながら「**ゴジラ岩**」を見学します。

赤神神社五社堂では、鬼が一夜で築き上げたという999段の石段を登ります。新緑がまぶしい！！



ホテルに到着。夕食の名物石焼き料理は、男鹿でとれた魚介が入った木桶に800度の真っ赤な石を投入。入れたとたん、「ジューッ」という音が！新鮮な魚の出汁が美味しいですよ。食後は近くの「男鹿温泉交流会館五風（ごふう）」で迫力満点の**なまはげ太鼓ライブ**を堪能。力強い動きやバチさばきに惚れ惚れ…♡

次の日は、最近全国的に有名になった「**雲昌寺**（うんしょうじ）」の敷地いっぱい広がる**紫陽花**に感動！さらになまはげ館、なまはげ伝承館に足を伸ばし、怠け者を戒める大晦日のなまはげ体験も。なまはげを見て泣き出す子どももいましたが、最後にはよしよしされていました。なまはげに厄払いしてもらい、怖くて楽しい体験になることでしょう。



そこから男鹿水族館 GAO（ガオ）へ。アザラシと飼育員とのやりとりにはっこり。水族館前の岩や近くの高台にある「**八望台**（はちぼうだい）」からの景色などは絶景！この周辺はジオパークにもなっており（NHK「ブラタモリ」でも紹介）、男鹿半島の歴史を感じる場所です。



男鹿の魅力を存分に堪能し、別れを惜しみつつ、楽しい思い出を胸に帰途に着きます。

このような予定でした。少しはイメージできましたでしょうか？

実際に実施できていたら、どんな素敵な出会いや自然との出来事があったのでしょうかね。想像してみてくださいね。

今回来られなかった皆様、世の中が落ち着いて安心して移動できるようになり、秋田に足を運ばれる際の参考になさってください。

他にも県内各地たくさんいいところもあります。ぜひ「秋田さ来てけれな〜。いいどご、んめもの、いっぺあるど〜（訳：秋田にきてくださいね。良いところ、おいしいものの、いっぱいありますよ。）」



おまけ：開催当日現地レポート

実施予定の6月7日日曜日に、スタッフのうち3名が現地を訪れてみました。せっかくですので、その様子もお知らせします。



駒ヶ岳～鶴の湯探訪（藤田公仁）

外出自粛が一部解除された6月6日、全国研究大会が行われたはずの田沢湖に家族で宿泊することにしました。乳頭温泉郷で営業しているのは「休暇村 乳頭温泉郷」のみ。しかも駐車場には県外ナンバーの車ばかりで驚きました。

休暇村に駐車し、孫六温泉登山口から向かうは乳頭山(烏帽子岳)。天気は快晴！ブナ林の登山道は気持ちよく、チングルマ、ヒナザクラ、ミネザクラなど楽しみながら、予想以上の急登にうれしくなります。乳頭山から残雪の残る秋田駒ヶ岳の姿は雄大で、笹森山、湯森山と縦走し近づくとともにその姿は大きくなってきます。もう少しでコマクサが咲き誇る焼森を通り、横岳に着くと秋田県最高峰の秋田駒ヶ岳（男女岳、荒々しい男岳、水蒸気をあげている女岳）を一望できます。花の百名山を象徴する馬場ノ小路（ムーミン谷）はまだ残雪に覆われ、お花畑の散策は次回に。阿弥陀池小屋周辺もチングルマ、ヒナザクラが咲き始めた頃で、今年の雪解けは遅かった模様。雲が出てきたので八合目小屋へ、途中2箇所が残雪あり、去年より残雪は多いように感じましたが、アイゼンなどなくても下山できました。

八合目からは、登山バスと路線バスで休暇村へ戻りました。

休暇村では、乳頭温泉を満喫（ここの露天風呂はブナの森の中）し、夕食にはきりたんぽ鍋、ジュンサイなど地元料理に舌鼓を打ちました。（県外ナンバーの方たちも満足だったでしょう！）

翌日6月7日も快晴、朝食前にブナの森を散策。まだ小さいブナの葉からこぼれる朝日を浴びながら、たっぷりとマイナスイオンをいただきました。

朝食後は、B 鶴の湯コースへ。鶴の湯峡の吊り橋、ツアールの森を抜け鶴の湯温泉へ。

午前中でしたが、日帰り入浴目当ての県外ナンバーの車が目立ちました。自分は温泉セットを忘れ、そのまま戻ることになった。

最後に田沢湖スポーツセンターに寄りました。ちょうど11時。全国研究大会が行われる予定だったセンターには、女子バスケットボールの練習試合で賑わっていました。センター前のスキー場のゲレンデ（閉会式会場予定地）には黄色の花が風に揺れていました。頂上を雲で隠した駒ヶ岳を背に、眼前には紺碧の田沢湖を望みながら、家族とともに閉会式を行いました。



新緑のブナの森訪問記（戸嶋 明）

中止になった全国研究大会の日程に合わせ、6月7日（日）に乳頭高原のブナの森を歩いてみました。鶴の湯温泉旧道口バス停から森に入ると、出迎えてくれたのは、エゾハルゼミと野鳥との混声大合唱、ブナの新緑と木洩れ日を揺らす薫風。休暇村までの約2.5 kmの散策路を、ブナの生涯の様々な場面やカモフラージュするカエル、幹に連なるセミの抜け殻、山野草などブナの森の家族との出会いを楽しみ、時に美味しい深呼吸をしながら歩き、うっすら汗ばむ頃には2時間があっという間に過ぎていました。

ブナの森の魅力を改めて実感し、心身ともにリフレッシュできた1日でした。昨年は大凶作だったブナの実も今年は平年作の予想とのこと、秋には一緒に出かけてみませんか。

6月7日に会ったブナの森の家族たち



若葉と木洩れ日



倒木の横の保育園



2歳児かな？



マザーツリー



芽鱗と実



私にも役割あり



ザ・カモフラージュ



僕が最後尾です



可憐！

田沢湖畔めぐり（近藤千晴）

高原から一気に下り、湖畔へ向かいます。お日様が湖面に反射し、眩しいくらい。湖は真っ青。場所によって緑っぽかったり、深い青だったり、本当に多彩な青でした。湖岸に立ち並ぶ木々の木漏れ日も心地よく、気持ちの良いドライブです。行き交う車はそれほど多くはないけれど、さすがに「辰子（たつこ）像」前は観光ポイントらしく人はたくさん。湖の青に金色の辰子像が一層輝いて見えます。みんな思い思いにシャッターを切っていました。



湖畔に降りると、爽やかな風がほおをなでていきます。ゆったり、ハンモックに揺られて昼寝をしたい…そんな気分になりました。

▼乳頭温泉郷散策マップ（全コースでブナの森を体験します）



以上、私たちなりの、紙面による「おもてなし」でした。
秋田の魅力が皆さんに少しでも伝われば幸いです。

「空気のうちめえ秋田さ、きてたんせ〜。へば、まんず！」
（訳：空気のおいしい秋田へ来てください。それではまた！）